

陸上ホッケー部

「変わらなきゃ」

～19年目をむかえるにあたって～



試合前

文・柴田正輝
理学部2年

今年で創部十九年、そう、来年には成人式を迎える二十年目になるのです。我々とほぼ同い年の陸上ホッケー部は二十歳になるにあたり、「変わらなきゃ!!」と思っています。

「変わらなきゃ!!」その1

我々広大ホッケー部は、創部以来一度として関西学生リーグで一部リーグに昇格したことがないのです。それでも昔は、二部リーグの上位に定着し、あと少いで...という実力がありませんでした。

しかし、近年は三部リーグへの降格にあえぐような弱小チームになりつつあるのです。一部昇格を目指し、今年こそは変わります。

その2

昨年、女子部員が十三名になり、いよいよ本格的に活動を開始しました。練習試合も数回こなし、今年は関西学生リーグに加盟をするつもりです。実力こそ劣りますが、元気の良さやルックスでは、関西の他のチームに勝っている?と思います。数年後には関西に広島旋風が吹いていることでしょうか。

広島大学で「ホッケー」と言えば、アイスホッケーではなく、「陸上ホッケー」がすぐ連想される、そんな部にしたいです。

(しばた・まさてる)

陸上競技部

炎のランナー



第46回中国五大学
学生競技大会で2年連続優勝!

文・山中隆史
教育学部教科教育学科3年

私たち広島大学陸上競技部では、男女約七十名の部員が、毎週月曜日から土曜日、大学内の陸上競技場で練習に励んでいます。

陸上競技には、短距離・中長距離・跳躍・投擲などがありますが、私たちが種目別のパートに分かれ、それぞれ独特な練習を取り入れています。

そうした練習の成果を発揮する試合の中で主なものには、五月に行われる中国四国インカレ、七月の中国五大学学生競技大会、十二月の中国四国学生駅伝などがあります。

昨年は、中国五大学において男子が総合優勝を果たし、また、全日本インカレにも数名出場し活躍するなど、良

い結果を残すことができました。

このような試合のほかにも、春と夏、年二回の全体合宿や十一月の大運動会など、さまざまな行事を行っています。

また、年に数回、バレーボールやソフトボールのレクレーションといったコミュニケーションづくりの場も設けられています。

陸上競技は個人競技である、とよく言われますが、私たちはチームとしての目標をしっかりと掲げ、チーム全員が一丸となって向上していけるように頑張っています。

これからも、良い雰囲気の中で活躍できるように、意識を高めていきたいと考えています。(やまなか・たかし)